

## 第3章 障害者福祉団体調査

### 1 活動状況

#### (1) 会員数・運営に携わっている人数（問2）

会員は平均93.3人となっている。

運営に携わっている人数は平均9.3人となっている。

#### (2) 活動拠点の有無（問3）

活動拠点の有無は、9団体すべてが決まっていると回答している。具体的な場所は市内の施設がほとんどだが、1団体が賃貸事務所、1団体が会長自宅と回答している。

#### (3) 運営経費の収集方法（問4）

運営経費の収集方法は、最も多いものは「会員からの会費」が6団体、「寄付金」が3団体となっている。2番目は8団体が「市からの補助金」と回答している。（図表3-1-3）

図表3-1-3 運営経費の収集方法（全体）

(N=9)	最も多いもの		2番目		3番目	
	団体数	割合 (%)	団体数	割合 (%)	団体数	割合 (%)
市からの補助金	0	0.0	8	88.8	0	0.0
市以外からの補助金	0	0.0	0	0.0	4	44.4
寄付金	3	33.3	0	0.0	2	22.2
会員からの会費	6	66.6	0	0.0	1	11.1
事業収入	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	11.1
無回答	0	0.0	1	11.1	1	11.1

#### (4) 活動する上で困っていること（問5）

活動する上で困っていることは、「後継者問題」と「財政的支援」が7団体で最も多く、「会員の意識（5団体）」、「活動場所の確保（4団体）」が続いている。（図表3-1-4）

図表3-1-4 活動する上で困っていること（全体：複数回答）

(N=8)	団体数	割合(%)
事業の企画	0	0.0
運営方法	2	22.2
活動場所の確保	4	44.4
会員の意識	5	55.5
後継者問題	7	77.7
社会の認識	3	33.3
ネットワークづくり	1	11.1
行政支援	2	22.2
財政的支援	7	77.7
人的支援	2	22.2
その他	1	11.1
特にない	0	0.0
無回答	0	0.0

## 2 相談支援体制（問6）

市の相談支援体制に望むことを自由記述形式でたずねたところ、相談窓口をわかりやすくすること、複合的な問題、課題も含めて一人ひとりに柔軟に対応できるような体制が求められている。関係機関が連携したワンストップサービスの確立も期待されている。

また、精神障害者相談員制度の構築、精神障害者のピアカウンセラーの育成、訪問相談への対応も期待されている。

### <具体的な意見>

- ◆ゆくゆくは、精神障害者相談員制度の構築が期待されています。◆精神障害者のピアカウンセラーの育成に取り組むことが求められています。【府中市精神障害者を守る家族会】
- 府中市をはじめ多くの行政・民間機関で相談業務を行っています。そのいずれもが、相談者の要望に応えるものとはなっていないとの声があります。市の相談については、完結できる体制をとってほしいと思います。【府中市手をつなぐ親の会】
- 相談内容によって、市の相談窓口をわかりやすくする。施設、高齢者、障害者等の社会参加支援を。【府中市身体障害者福祉協会】
- 希望者には訪問相談してほしい。【府中自閉症児・者親の会】
- 単純な課題の問題は少なくなって、最近は複合的な課題・問題もかかえている障害者も多いです。そのため①どの窓口に相談に行けばよいか、わかりやすくすること。②窓口どう

しの連携をはかること。（縦割りにならないようにする）が必要と考えます。【府中市聴覚障害者協会】

- ・ 個々の相談に対し必要な情報を提供していただき個々の状況に合わせた迅速かつ柔軟な対応を望んでいます。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 各機関の連携によるワンストップサービスの確立を期待します。例：副籍で、普通校に行くための支援（階段など）を相談したところ福祉課、教育委員会、社協、相談支援センターと次々問い合わせることになったとのこと。各担当者は真面目に対応しているが、問題のとらえ方がバラバラで、当事者が調整することになったそうです。各セクションが問題意識を持っていれば、こうした相談事項は自立支援協議会などに上がってくるのでは・・・と思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 高齢者の集まりのため、介護保険の利用に対する相談が多いので、相談時の対応で本人がよい状態になる体制にしてほしい。【府中きすげの会】
- ・ 書類等の提出対応には、丁寧、親切でとても満足しています。しかし、認知症とパーキンソン病の2つの難病を持った夫を抱えた方がどうしたらよいのか途方にくれ、市の窓口の専門担当者ならいろいろと教えてくれるだろうと思いつたが、納得いく説明を得なかった。職員の方々は、二十代・三十代の若い人が多く、経験がないから説明が杓子定規で、事務的でとても満足できなかった。もっと相談に行った者の目線で話し、相手を理解してあげてほしい。【府中市パーキンソン病友の会（のぞみ会）】

### 3 災害時の支援（問7）

災害時に心配なこと、支援としてあったらよいことを自由記述形式でたずねたところ、避難所への意見が多い。障害のある人向けの避難所の設置、それぞれの障害に応じた薬、機器、物資の用意、情報伝達方法、専門職の対応の検討が求められている。避難所設営マニュアルに関する意見を各障害者団体から聞いてほしいとの意見もあった。

また、近隣の助け合い、要援護者の把握、名簿登録の重要性等に対する意見も多い。

#### <具体的な意見>

- ・ ◆人とあまり接触しないですむ静かな避難場所が必要です。◆避難所には、向精神薬がすぐ入手できる体制を整えておく必要があります。◆訴えをていねいに聴いて、心を落ち着かせる役割の人が必要です。精神保健福祉支援の専門性が求められます。【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ ①多様な障害者に対応できるような個別のものではないとしても、各避難所内に福祉のブースの設置②市内にある障害者施設を、その施設の主たる障害者を対象とした避難場所として開放する。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ 発災時にひとりでも多くの命を救うためには、発災直後の近隣住民同士の助け合いが大きな効果を発揮し障害者、高齢者、外国人、難病患者、乳幼児、妊産婦等の災害時要援護者に対しては、情報把握、避難生活手段の確保などの支援が必要だと思います。【府中市身体

【障害者福祉協会】

- ・ 自閉症の人の避難場所をあらかじめ決めて、周知させてほしい。（1次避難所→2次避難所へ、ということは無しにしてほしい。）（例えば慣れた場所に、特別養護学校、作業所とか）

【府中自閉症児・者親の会】

- ・ ◆地域の人々に障害があることを知って頂くのは思ったよりも大変なことです。そのため、要援護者名簿の役割が非常に重要と考えています。現在の災害時要援護者名簿は、登録可能者に制限があるので、登録条件を見直してほしい。◆東日本大震災の時には、耳の聞こえる人でも防災無線が聞こえにくかったと伺っております。災害時の情報伝達方法について防災無線に頼らないしくみを整えておく必要があると考えています。◆避難所運営マニュアルがあれば、一度障害者団体に開示してほしい。そうすれば、例えば「TVの字幕オン」など具体的な支援策が見えてくると考えています。【府中市聴覚障害者協会】

- ・ 障害の違いによって、かかえる問題がそれぞれ違いますので、障害の特性を把握していただき、その障害に合った避難が必要です。多くは健常者と同じ避難所では生活するのは困難と思われます。特に当会（筋ジストロフィー）には24時間人工呼吸器を使用している方もいるため電源の確保が必須です。特別支援学校等を福祉避難場所として必要物品の確保等整備していただきたい。【府中進行性筋委縮症協会】

- ・ 障害者及び家族も自分達でできる備えをしようと努力しています。力の及ばない部分について市で検討していただきたい。①避難所に行けない人への情報伝達手段の確保②救援物資配布に対する配慮③要援護者名簿作成及び保管についての意見交換④地域防災計画、避難所設営マニュアル作成に際して当事者及び家族の意見を聞く。【府中市肢体不自由児者父母の会】

- ・ 行政だけでは手がまわらないと思うので自治会単位で助けあい、その時に行政と連絡を密にできる状態にしておくといよい。移動が一番の問題だと思う。障害者に対応するには1人では駄目ということを常に考えて行動、準備することが必要だと思う。【府中きすげの会】

- ・ ①警察署、消防署、町内会・自治会等へ障害者の登録と病状の把握。②避難、救出の対応の周知徹底（パーキンソン病の患者は、頭で考えているとおりの行動がすぐには取れず普通の人の倍以上の時間を要しますので緊急時等は、他の人の助けが必要です。）③障害者には緊急時用の笛（呼子）を持たせる、緊急医療キットを常設する。④緊急時用の避難、救出優先道路の設定と徹底。⑤避難場所の周知徹底。以上等など【府中市パーキンソン病友の会（のぞみ会）】

## 4 制度の谷間の問題（問8）

地域での制度の谷間の問題を自由記述形式でたずねたところ、谷間にある方へ一人ひとりへの相談対応、孤立しないような支援、サービスが受けられるような支援が望まれている。

### <具体的な意見>

- ・ 生活する上で困っていることが、何らかの心身の機能の障害に基づいていることが医師により診断された場合は、困っていることを軽減させるための支援を既存のサービスを使って行えるようにできないか。障害種別は「その他」とする。既存のサービスでカバーできないときには、適切なサービスを新設する。市独自に行う財源がないときは、国に制度の改善を求める。【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ 問11と重複します。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ 所得制限を緩和して、サービスを受けられるように。【府中市身体障害者福祉協会】
- ・ 軽度発達障害の方々が相談に行けるように周知させてほしい。【府中自閉症児・者親の会】
- ・ 支援策を考えるために、福祉の谷間にいる方々がどの程度いるのか推計を行うべきと考えられます。障害者手帳を取得できない人（基準以下）、人生の途中で障害をもつようになった人、高齢による機能低下など、想定でもよいので検討すべきと思います。その上で、そうした方々が孤立をしないよう、日常生活のさまざまな支援によく通じた方による、相談を行えるようにすべきと考えます。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 国や都の制度で受けられないサービスは市単独の制度として、できるだけカバーしていただきたいと考えています。市の制度でも谷間にある方々やかかえる問題を解決できない場合は、当会（患者会）や他の福祉団体、社会福祉協議会や自治会と地域におけるネットワーク作りが必要と考えます。是非そのネットワーク作りが個々にできるよう市としてサポートしていただきたいです。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 障害福祉サービス等は障害者しか知らないというのが現状だと考えます。例えば、制度の変更などは広く一般市民に広報することにより社会全体の理解が深まり、谷間の方たちにも情報が届くようになるのではないのでしょうか。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 障害を持つすべての人に必要なサービスを受けられるということはとても抽象的で、一番は1人1人の求めることをかなえてあげるのが、サービスを受けたと本人に感じるものです。制度の谷間にある方々には一対一の対応が必要と思われるが、民間のボランティアを多数募集して、対応していただくのがよいと思う。【府中きすげの会】
- ・ パーキンソン病患者に限って考えれば、ヤールⅠ、Ⅱ（ステージⅠ、Ⅱ）の者には、障害者手帳等がもらえないのに障害者福祉ももらえない、同じパーキンソン病患者として将来完治することの無い難病に苦しみ、悩み、もがいている、病気程度の軽重で差を何故つけるのか、同等にしてもよいと思う。担当者や世間の方々の理解と交渉を行う。【府中市パーキンソン病友の会（のぞみ会）】

## 5 意識啓発への協力意向（問9）

共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できることを自由記述形式でたずねたところ、多くの団体が啓発活動における講師等としての支援ができると回答している。

### <具体的な意見>

- ◆精神障害者とその家族の実態について、話をする講師の派遣。◆家族会運動や、精神障害者の法律制度の移り変わりについて話をする講師の派遣。【府中市精神障害者を守る家族会】
- 団体としてできることは、現在休会中なので大したことはできませんが、多様な事業展開による啓発・PR活動をしていきたいと考えています。【府中市手をつなぐ親の会】
- 福祉のまちづくりの普及啓発。社会参加への支援。災害時要援護者の避難支援。【府中市身体障害者福祉協会】
- 自閉症者の特性について説明したりすること。【府中自閉症児・者親の会】
- ◆市民への啓発イベントへの協力（耳の聞こえないことの説明や手話の指導など）。◆意思疎通支援を行う者の養成が市町村の必須事業となった。手話講習会の充実に向けてカリキュラムの見直し、指導の工夫など努力は惜しまないが、一方で市としても講習会の存在を広く市民に発信するなど啓発や養成の努力を続けてほしい。【府中市聴覚障害者協会】
- 市民の方々にもっと意識をもってもらうにはやはり障害や病気に対する理解を深めてもらうことが大事だと思います。今までも参加してきた福祉まつりの参加はその1つでもあり、今後も継続していきたいです。また、新たにセミナーやイベントなど啓発活動への参加協力は可能と考えます。【府中進行性筋委縮症協会】
- 市内で行われるさまざまなイベント（市が主催するもの以外も含めて）に、可能な限り参加する。地域のイベントのお知らせをいただけたら、会員に配布して周知することなどできると思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- 当団体は平均78歳で構成されているため、市民に意識を持ってもらう以前に自分が自立して生活するのが精一杯のため、働きかけは無理がありますが、全員が被爆経験がありますので、福島原発事故の将来が心配ですが、被爆体験を通じ、かたちの違う市民への意識を高められるのではないかと考えている。【府中きすげの会】

## 6 障害福祉施策について

### (1) 障害者総合支援法についての不満や不安（問10）

障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）についての不満や不安を自由記述形式でたずねたところ、以下のような意見があった。

#### <具体的な意見>

- ・ 個人としての尊厳が大切にされるような支援にするには、利用者一人ひとりの話を十分な時間をかけて聴き、個々の利用者の人生の希望や生活の目標を明らかにして、その実現に向けて協力することが必要とされます。個々人の向上心、自尊心、自信を強化するために、得意な仕事や趣味を見つける支援も必要です。従来の内職や掃除を低賃金でやらせるあり方は変えるべきです。【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ 障害者の自立及び社会参加にとって、日常生活及び社会生活の支援が、共生社会を実現する。障害者の居住の安全確保。安否確認や生活相談など。【府中市身体障害者福祉協会】
- ・ 障害程度区分認定調査に際して、わかりにくい困難さが認められ、適正な区分になるよう配慮してください。【府中自閉症児・者親の会】
- ・ 意思疎通支援事業において、聴覚障害者本人からの通訳派遣依頼が有料となり、生活を守るべき場面が出てくる可能性があるのではないかと心配している。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 何がどうかわるのかわからない部分があるのでパンフレットを配布し理解できるようにしていただきたい。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 制度の変更が多く、現行のサービスが使えたり、使えなくなったりするので、混乱している人もいます。又、居宅介護の申請をしても、新規はなかなか認めてもらえないという声も聞いています。支給の基準を明確にさせていただくと共に、障害者本人にとってよりよい支援が受けられるようにしていただきたいと思います。\*声の大きい人の要望を聞くということではなく、真に必要な支援をするということです。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 当団体の支援がどのようになるのかよくわからないので、給付などはやはり減るようだと運営などに不安を感じる。【府中きすげの会】

## (2) 市の障害福祉施策への意見・要望（問11）

市の障害福祉施策への意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、就労支援、バリアフリー教育、発達支援センター自立支援協議会、財政的支援について等、各団体からさまざまな意見が寄せられている。

### <具体的な意見>

- ・ ◆一般市民を大切にすると同じ敬意と熱意を障害がある人にも向けてほしいです。◆深刻な人権喪失状態にある障害者の救済策は、他の施策に優先して実現を急いでほしいです。  
【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ ①就労支援の充実(就労のためのスキル向上を目的とする機関の設置) ②アウト・リーチ取り組みについての財政的支援は可能ですか。③法的制度ではどのようなものがありますか。ご教示ください。④触法の障害者について、府中市として取り組んでください。⑤府中で把握している現状について、ご教示ください。⑥その対応は、どのようにしておられますか。ご教示ください。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ バリアフリー教育の推進。施設、設備の適正利用の推進。車いす使用者対応席を設ける。会場までのバリアフリー整備情報の提供。障害者が自立生活ができる社会を。【府中市身体障害者福祉協会】
- ・ ◆特別支援学校等で重度自閉症児に手厚い支援をお願いします。◆卒業後の通所先、作業所等を確保してください。◆子ども発達支援センター事業で、希望者が利用出来るようにお願いします。【府中自閉症児・者親の会】
- ・ ◆2016年から障害者差別禁止法施行(予定)に合わせて、府中市においても障害者差別禁止条例のようなものを準備してよいのではと思います。◆自立支援協議会について、地方公共団体での設置、構成員に障害者の当事者を入れることなどが努力規定として求められているが、さまざまな障害者がいるため当事者を入れるだけでなく、定期的に障害者(当事者)の意見を聞く場を設けてほしい。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 財政面では厳しい中ではありますが、現状サービスや施策を他市並みに低下させるのではなく今までの府中らしさを継続していただくと共に、必要な施策は新しい要望に対しても積極的に取り組んでいただきたいと思います。(医療ケアが必要な人でも利用できるレスパイト)【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 来年60周年を迎える府中市で、これまで市と障害者が話し合ってさまざまな施策ができました。その根幹には、障害福祉計画にあるように『障害があってもなくても、ひとりの市民として尊重される』方針があるからだと思います。財政面の課題はあると思いますが、全てを他市並みにと変更していくのは納得がいきません。府中市としての福祉に対する考えを明示し、それを実現できる施策を実行していただきたいと思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】